

# 信州中野

2017

4

No.382



## 商工会議所ニュース

信州中野商工会議所

●ホームページ： <http://www.nakanocci.or.jp/>

●E-mail： [info@nakanocci.or.jp](mailto:info@nakanocci.or.jp)

### 今月号のみどころ

- ・ 通常議員総会開催
- ・ 中野ひな市終わる
- ・ 新規就職者激励大会開催
- ・ 企業と人



# 通常議員総会開催

## 平成29年度 事業計画並びに収支予算を決定

平成29年度の事業計画及び収支予算などを審議する常議員会が3月17日、通常議員総会が3月24日に開催され、次に掲げる全ての議案が原案どおり承認及び認定されました。

- 第1号議案 平成29年度収支予算の第2回補正について  
 第2号議案 平成29年度入会金、会費、特別会費、負担金の賦課額について  
 第3号議案 平成29年度借入金最高限度額について  
 第4号議案 平成29年度事業計画について  
 第5号議案 平成29年度収支予算について（一般会計並びに8特別会計）

なお、平成29年度の収支予算は、前年度同様に一般会計のほか8特別会計の9会計で、前年度と同じです。

～地域になくてはならない商工会議所として、賑わいある街づくりのために～

## 平成29年度事業計画

### I 基本方針

わが国経済の動きを見ると、昨年は国の経済対策が進められる中、日本経済は円安により主要企業の多くで業績が回復しており、景気の現状は「緩やかな回復基調を続けている」とされ、様々な産業並びに地方経済への波及もみえてきた感もありません。

一方、地域経済は少子高齢化等にもなう閉塞感が漂っている。こうした現況から脱出するためには、「信州なかの」の伝統文化・施設、自然、特産品など地域資源を活用し、県内外に向けた情報発信が必要と考え、「なつちよ合同会社」のポータルサイトから様々な情報発信を始めています。

さらに、「楽しむコト」ができる多様性に富んだイベントを通じ、ファンをつくる事業の推進が必須と考え、当所主導により昨年10月に「信州中野おごっそフェア」(実行委員会3団体：当所青年部、JA中野市青年部並びに中野青年会議所)を初めて開催しました。

「食」をテーマに、中野の旬の果物や野菜、料理や食品を堪能いただくこと。また、生産者と県内外のバ

イヤー&消費者を呼び込み今後の販路拡大に繋げる第一歩となりました。多くの皆様からの反響が大きな収穫になり、地域の情報発信が必要と再認識しました。

農商工十行政が連携し、中野市の農業者及び関連企業を元気にすることが、市内経済を元気にする一歩になります。実行委員会は既に始動しています。今秋開催の第2回目のフェア開催に向けて、総力をあげて取り組んで参ります。

信州中野商工会議所は地域の総合経済団体として、会員企業をはじめ多くの関係者の意見を集約し、行政に対して景気対策、中小企業対策並びに中心市街地をはじめとする地域の活性化について積極的に政策要望を行って参ります。

また、会員企業が抱える課題解決のため、経営改善・経営革新・創業等について経営相談会・出前相談の開催。さらに、高度専門広域連携支援事業等を活用した、ワンストップ支援を強化して参ります。

市内の商工業の振興と地域社会の活性化のため、商工会議所運営に係る重点事項及び事業計画を定めて役員・議員、職員が一丸となり邁進して参ります。



### II 重点事項

- 行政機関等への意見具申、要望活動の実施
- 会員ニーズの把握及び会員サービスの強化、推進
- 商工会議所中期行動計画の策定研究
- 商工会議所の組織財政基盤及び共済制度の強化、推進
- 「信州中野おごっそフェア」の開催等、地域資源を活かした新たな観光や食等の活性化の研究、推進
- 部会活動の活発化
- 中心市街地活性化支援
- 経営改善普及事業等、中小・小規模企業支援事業、創業支援事業の推進、並びに高度専門広域連携支援事業の活用
- 人材育成、雇用確保事業の実施
- 少子化・子育て支援対策事業の推進
- 青年部、女性会の活動支援
- 中野市商店会連合会、信州なかの観光協会、なつちよ合同会社、ほか関係団体との連携強化

商工会議所各種ダウンロードサービスが便利です。

会員情報各種変更届等 当所ホームページからダウンロードできます。(URLは表紙に記載)

事業計画

1. 意見活動に関する事業 (主管: 総務委員会)

- (1) 商業、工業、交通、観光等の産業振興に関する意見・要望
- (2) 地域活性化及び地域振興に関する意見・要望
- (3) 行政及び市議会並びにJAとの連携強化
- ア 市理事者との懇談会開催
- イ 市議会議員との懇談会開催
- ウ JAとの懇談会開催

2. 商工会議所組織財政基盤強化及び運営に関する事業 (主管: 総務委員会)

- (1) 中期行動計画の策定研究
- (2) 組織基盤の強化
- ア 議員定数及び議員選挙制度のあり方研究
- イ 会員加入促進の実施
- (3) 財政基盤の強化
- ア 商工会議所共済制度加入推進の実施
- イ 収益事業の研究
- (4) 組織活動の強化
- ア 会員ニーズの把握及び会員サービス強化
- イ 青年部、女性会、支部連合会、豊田支部との懇談会開催
- (5) 会員交流事業の実施及び研究
- ア 中野市経済新春賀詞交歓会の開催
- イ 近隣商工会議所との交流
- ウ 新春経済講演会の開催
- エ 会員ゴルフコンペの実施
- オ 新規会員交流事業の開催研究
- (6) 他の委員会事業に属さない事項
- ア 役員議員研修旅行の企画
- イ 近隣商工会議所との交流

3. 商業振興に関する事業 (主管: 商業委員会)

- (1) まちづくり支援
- (2) 空き店舗調査と情報公開
- (3) 商品券発行による市内商業の活性化支援

4. 工業振興に関する事業 (主管: 工業委員会)

- (1) 企業間相互(産・産)、連携支援機関(産・官)、大学等学術機関(産・学)との連携による「新事業、新産業創出」への支援
- (2) 科学技術共同研究事業の実施
- (3) 製造業部会、建設業部会との連携によるセミナー、講習会の開催
- (4) 関係機関・団体との連携強化
- ア 長野県テクノ財団善光寺バレー地域センター
- イ 二十一世紀北信州ものづくり産業振興会
- ウ 中野市建設業協会
- (5) 先進工業地域・企業・施設の視察研修
- (6) 新事業への参画の検討

5. 観光に関する事業 (主管: 観光委員会)

- (1) 観光振興のための連携強化
- ア 中野市、信州なかの観光協会との連携強化
- イ 市内観光関連施設並びに観光産業事業者との連携強化
- ウ 広域観光団体等との連携
- (2) 観光に関する情報発信の強化
- (3) 全国土人形即売市の実施
- (4) 中野陣屋光と音のシンフォニー実行委員会への協力
- (5) 観光・交通業部会との合同意見交換会の実施
- (6) 先進地施策研修の実施
- (7) 他の委員会との連携

6. 広報に関する事業 (主管: 広報委員会)

- (1) 会議所ニュースの定期発行
- (2) 各種情報の収集と提供
- (3) 各種参考資料の提供
- (4) 視察研修の実施

7. 中小企業振興対策に関する事業 (主管: 経営委員会)

- (1) 小規模事業者経営改善資金の利用促進及び同審査会の開催
- (2) 人材の育成及び雇用対策
- ア 新規就職者激励大会の実施
- イ 優良従業員表彰
- (3) 少子化対策事業の推進
- (4) 先進業視察

8. 中小企業相談所に関する事業 (主管: 経営委員会)

- (1) 各種制度資金の斡旋に係る相談、調査及び指導
- (2) 企業への巡回・窓口による経営・金融・税務・労働・取引等の相談、指導の充実
- (3) 講習会の開催による支援
- (4) 専門家による相談及び指導
- ア 経営なんでも相談会の実施
- イ 個別巡回相談指導の実施
- (5) 高度専門広域連携支援事業の活用 追加
- (6) 小規模振興委員の活用による連絡強化

9. 地域文化の向上及び地域振興に関する事業

- (1) 中野祭事業の企画、推進及び支援
- (2) 『信州なかのおごっこそフェア』及び関連事業の企画・推進
- (3) 中野バラまつりの支援
- (4) 豊田地域振興事業の支援

10. 創業支援に関する事業

- (1) 中野市創業支援計画に基づく事業への参画
- ア セミナー開催による支援
- イ 市街地への創業者の誘致促進

11. 商工技術の振興に関する事業

- (1) 簿記検定試験の実施
- (2) 販売士検定試験の実施
- (3) 日商PC検定試験の実施支援
- (4) 電子会計実務検定試験の実施支援

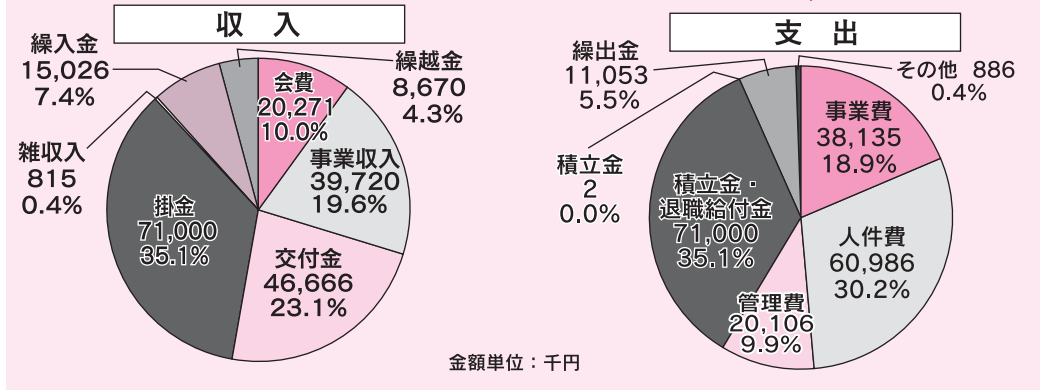
12. 労働保険事務組合に関する事業

- (1) 労働保険事務組合の運営
- (2) 労働保険受託事務の実施

13. その他

- (1) 環境問題等に関する対策
- (2) 関係団体の事務受託及び支援
- (3) 社会福祉、文化向上等に関する事業の推進と協賛

平成29年度9会計収支予算 総額202,168千円



商工会議所共済保険料・掛金の口座振替は毎月23日です。(但し、振替日が土・日・祝日の場合は翌営業日)

# 北信州に春を呼ぶ 中野ひな市開催



北信州に春を告げる伝統行事「中野ひな市」を3月31日、4月1日に開催しました。寒い曇り空の2日間でしたが日中は陽が差し、まちは大勢の人で賑わいました。

中野陣屋・県庁記念館で3月25日～31日迄の6日間ひな市で販売する土びなの展示を行いました。1500人を超える土びなのファンが会場を訪れ、お目当ての土びなの探したり撮影を楽しみました。

31日の即売会には、中野土びなを求めて県内外から多くのファンが並び、中野通りには600人を超える長蛇の列



ができました。今年は、奈良家・西原家あわせて465点が販売されました。

中野陣屋前広場では、全国20ヶ所の「全国土人形即売市」を開催し、約250点を販売しました。このほか、同会場では当所会員13店の出店による「ひな市フェア」を開催し、お土産品等が販売されました。

同日夜は、西町祭祀団の「大籠籠ひな行進」が行われました。3基の籠籠ひなが大きな掛け声とともに市街地を行進し、ひな市の夜を彩りました。

また、市街地では、3月13日から市街地の商店が所有する土人形を展示する「まちか

ど土びな展」が、70店の協力を得て行われていました。3月下旬はパンフレットを持って街中を散策する方の姿がみられました。

## 平成29年度 新規就職者激励大会



今年4月、市内企業に就職した皆さんの門出を祝い、職業意識の高揚を図り喜びと誇りをもって働いていただくために、中野市と当所の共催で開催している新規就職者激励大会を4月7日、中野地域職業訓練センターにおいて開催しました。

今年には市内企業・団体等から136名の参加がありました。第一部の講演会では、「仕事での新聞活用」について信濃毎日新聞社読者センターNIE専門委員の畑光一様より1時間ご講演いただきました。

第二部の式典では、池田中

最後に、準備・運営にご協力を頂きました当所役員・議員及び関係団体の皆様により無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。



野市長、山田会頭の主催者あいさつ。また、飯山職業安定所長をはじめご来賓からの祝辞がありました。

続いて、新規就職者を代表して長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院の樋口果帆さんより「職場において早く慣れ、貢献できるように一杯努力してまいります」と希望に満ちた答礼がありました。

今年4月、市内企業に就職した皆さんの門出を祝い、職業意識の高揚を図り喜びと誇りをもって働いていただくために、中野市と当所の共催で開催している新規就職者激励大会を4月7日、中野地域職業訓練センターにおいて開催しました。

今年には市内企業・団体等から136名の参加がありました。第一部の講演会では、「仕事での新聞活用」について信濃毎日新聞社読者センターNIE専門委員の畑光一様より1時間ご講演いただきました。

第二部の式典では、池田中

### 平成29年度 雇用保険料率について 今年度は雇用保険料率が変わりました。(料率引下げ)

事業区分	負担区分	雇用保険料率	負担率	
			被保険者負担	事業主負担
一般の事業		9/1000	3/1000	6/1000
農林水産・清酒製造の事業		11/1000	4/1000	7/1000
建設の事業		12/1000	4/1000	8/1000

\*雇用保険料免除対象高年齢者は、労働保険年度の初日（平成29年4月1日）において、満64歳以上の一般被保険者をいい、雇用保険料に係る保険料は労使ともに負担が免除されます。  
 （平成29年度途中（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）において満64歳となる方は免除対象となりません）  
 なお、季節的労働者（短期雇用特例被保険者）及び日雇労働被保険者は免除の対象となりません。

**贈り物やお返し…何にしようか迷った時は**

中野市内約270店で使える商工会議所発行 共通商品券が便利です。

「経営者の未来」と  
「会社の安心」のために。



保険をくりと変える。



アクサ生命

redefining / standards

会社を守りながら、ご勇退後のセカンドライフを  
より豊かなものにするために。

アクサの  
企業  
経営

サポート  
シリーズ

98定期付終身保険

98歳満了非更新型定期保険特約付無配当終身保険

アクサの「企業経営」サポートシリーズ 98定期付終身保険は、  
一生涯保障の無配当終身保険に98歳満了の非更新型定期保険特約を付加することにより、  
大きな保障を長期にわたって準備できる保険です。

<p>万一の事態から 会社を守る。</p>	<p>◎事業保障資金 経営者に万一のことがあった場合に、会社を守るために必要な資金としてご活用いただけます。</p>	<p>◎死亡退職金・弔慰金 ご遺族の生活資金や相続税の納税資金として活用できます。</p>	
	<p>◎不測の事態に備える資金 ※解約されると以後の保障はなくなります。 解約時払いもどし金を急な資金ニーズにご活用いただくことが可能です。所定の条件を満たせば、保障はそのままにして資金を調達できる「契約者貸付制度」がご利用いただけます。</p>		
<p>経営者の 未来を支える。</p>	<p>◎役員退職慰労金の準備 ※解約されると以後の保障はなくなります。 解約時払いもどし金を役員退職慰労金の財源としてご活用いただけます。</p>		
	<p>◎払済終身保険への変更 ご契約者を経営者個人へ変更することで、経営者ご自身のための保障にすることができます。その後は、保険料のご負担なく保障を継続することができます。 ※払済終身保険へ変更をされた場合、保険金額は変更前より小さくなります。</p>		
	<p>◎年金でお受取りの場合 払済終身保険へ変更後、年金払移行特約を付加することにより、一生涯の保障に代えて年金として受取ることもできます。 ※年金払移行した場合、移行した部分の死亡・高度障害保障はなくなります。</p>		

●アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。  
●本商品をご検討の際には、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。  
<引受保険会社>アクサ生命保険株式会社 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表) <http://www.axa.co.jp/life/>  
<お問合せ先>長野支社北信営業所中野分室 〒383-0022 中野市中央1丁目9-16 ぶくろやビル2F TEL 0269-23-0987 FAX 0269-23-3142 AXA-A1-1302-0338/9F7



## 「地域資源の深掘りを 生かすコラボを」

日経BPヒット総合研究所 上席研究員 渡辺 和博

先日、山形県の庄内地方でアル・ケッチアールというイタリアンレストランを経営する奥田政行シェフにお話を伺う機会がありました。そのとき、地域発のヒット商品づくりの視点で勉強になることがたくさんあったのです。奥田シェフは鶴岡市を皮切りに東京・銀座の山形県アンテナショップ内にあるヤマガタ・サロタンを経営・プロデュースしています。また、全国各地の地域の食材を使った商品やレシピの開発でも引っ張りだこです。食を通じて地域を

活性化したいという意識のとても強い方でした。

奥田シェフに何って感動したのは、地域資源（奥田さんの場合は主に食材）を深掘していく際の手法や考え方が徹底していることでした。山や川の地形や日照はもちろん空気の（風）の通り道や地質、水質などとそこで採れる食材の味の関係を深掘りしていくのです。例えば標高が550メートルくらいで、爽やかな風が通る地域ではチャンピオン級の牛が育つそうです。蚊などの虫が少なく牛がストレスを感じないからだそうです。

また庄内平野で冬のうちに道路が凍結しやすい場所を地図上に記録しておいて、後で線でつなぐと夏にはそこが風の通り道となっていて良い野菜が育つエリアが分かると思います。

このような調子で、地域の自然がもたらす恵みを徹底的に調べた上で、それを最終的な料理にどう生かすかを考えるそうです。地域の個性は他ではまねができないものなので、その特徴を突き詰めるとオリジナルなものが出来上がります。

面白いのは、こうして発見された個性ある資源の特徴を料理する（商品化する）ときの考え方です。例えば食材の持つ「苦み」や「エグみ」「香り」などは、よいものもあります。すべてが好ましいものとは限りません。そんな偏りを生かすために「同質なものを組み合わせる」「相補的な関係のもの」と組み合わせるという2つのアプローチを取るそうです。食材を組み合わせることで個性を残しつつ、さらに新しい価値を生み出します。

料理のプロですから、味はつくりようと思えば調味料や技を駆使してどんなものでもつくれるわけです。しかし、もともとの地域の自然・風土が生み出した個性を残せば他の場所ではつくれない地域資源になれるわけです。

奥田シェフは生産者さんと「物々交換」を駆使します。買ったたり買われたりという主従の関係ではなく、お互いの価値を認め合った上で共に繁栄しようとの考えがベースにあります。個性ある地域資源を生かすために、なんでもかんでも自分だけで完結するのではなく、「何と組み合わせればよいか」「誰と組めばよりよいものが出来るか」を考えてみるのは大事なアプローチだと思えます。野菜について言えば、これまで曲がったキュウリに象徴される個性が強いものは、形や味が市場に受け入れられないとして淘汰（とうた）されてきました。近年こうした傾向は見直されています。地域の個性が市場で価値を持つチャンスの時代が迫っているのだと思います。

### 渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

日経BP社 日経BPヒット総合研究所上席研究員。1986年、筑波大学大学院理工学修士課程修了。同年、日本経済新聞社入社。日経パソコン、日経ビジネス、日経トレンドなどIT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国各地の商工会議所などで地域振興や特産品開発のための講演・コンサルを実施。消費者起点のものづくりをテーマに地域発のヒット商品育成を支援している



# 企業と人

313

## なつちよ合同会社

代表社員 松村 直樹さん



今回は、なつちよ合同会社の松村直樹代表社員にお話を伺いました。なつちよ合同会社は、中野市の情報を発信するポータルサイト「なつちよぽーたる」の運営、管理業務を主軸に、インターネットホームページの企画、制作を始めとするインターネットに関連した様々な事業を行っています。会社が誕生するきっかけは、平成26年に松村さんが信州中野商工会議所青年部の会長を務められていた際、山田会頭との懇談の中で、インターネットを活用した事業でこの地域が元気になるような事が何か出来ないかという話をしたことでした。当初は青年部事業の一環として考えていましたが、青年部の中で1年間かけて議論を重ねるうち、毎年体制が変わる中で誰が管理す



るのか、また自身も数年後には卒業を迎えてしまうなど、責任を持って継続的な運営をすることに不安がある事が明らかになりました。それならば会社として立ち上げ、本気で取り組もうと決意し平成27年9月、青年部の有志10名でなつちよ合同会社を設立、翌年の平成28年4月には情報ポータルサイト「なつちよぽーたる」の運営を開始しました。松村さんは将来についてこう語ります。想い描く会社の未来像は色々ありますが、しかし弊社はまだ生まれればかり

です。しっかりとした基盤を作る為に、まずは今やらねばならない事を着実に積み上げて行きたいと考えています。」なつちよ合同会社では、ポータルサイト運営の他、事業所のホームページ制作やネットショップの開業支援など、既に幾つもある実績を重ねてきました。「我々の強みは地域に根差し、知っている人間だからこそ、価格やサポート面でも安心をお届けする事が出来ることです。故郷を愛する気持ちは誰にも負けません。」と松村さんは胸を張ります。そして信州中野の魅力をもっと広く伝えたい、地域住民のコミュニティを創造したい、もっともっと信州中野が好きになりたい、というゴールを目指し、地域の皆様と共にこの想いを叶えていきたいとおっしゃっていました。

松村さんはこの他にも、先代から続くスポーツ用品店を経営しており、今年の中野市商店会連合会副会長を務められる等、多方面にわたって活躍されています。これからも中野を元気にするための力となるようご期待申し上げますと共に、益々のご発展をお祈り申し上げます。

(インタビュー) 佐藤浩之

## ぐるなびシェフ生産地視察ツアー

### 信州中野おごっそフェア実行委員会

信州中野おごっそフェア実行委員会では、3月27日におごっそフェアの事業の一環として、「ぐるなびシェフ生産地視察ツアー」を実施しました。これは、食のポータルサイトを運営する「ぐるなび」と提携した企画です。東京で信州中野の視察を希望するレストランオーナーを募集し、3名の和食料理店(肴場 屯くTAMUROく新橋、麓屋京王プラザホテル、神田木花)のシェフがこのツアーに参加

加しました。

視察先はおごっそフェア出店企業(有)神農素、(株)丸世醸造場、(株)サンエー、(株)志賀泉酒造の4社でした。参加シェフは、神農素で「こうぼ豚」の飼料の工場と養豚場を、(株)丸世醸造場、(株)サンエーで生産工場を見学し、(株)志賀泉酒造では見学とあわせて日本酒「一滴二滴」試飲をしました。また、昼食と、夕食はそれぞれ(有)すきやきとレストランマッシュルームで食事をしました。(有)すきやきとマッシュルームでは見学先の信州中野産の食材を活かしたメニューを提供して頂きました。

参加されたシェフは「食材を探してこのツアーに参加した。収穫はあった。」「今年、長野で事業が決まっておりこのツアーに参加することで企業や人とネットワークを作れたかった。」等の意見を頂きました。

おごっそフェア実行委員会では、こういった取り組みを通じて首都圏のレストラン等とつながりを作り企業や商品、信州中野という土地を知ってもらい、少しづつ実績を積み重ねて取引の拡大につなげていきたいと考えております。



**新 入 会 員 の ご 紹 介**

平成29年 4月

事業所名：**デイサービスくるみ**

(合同会社シェアハンズ)

代表者名：大島 織枝 (おおしま おりえ)

所 在 地：中野市大字永江5695-1

業 種：通所介護施設



コメント：緑豊かなまだら  
おの麓、親川にお年寄りでも  
誰でも集える場所ができました。

いつも笑顔でお迎えいたします。  
4月からは「寄り合いお茶会」を開きます。



**事務局日誌** 平成29年 3月

1	水	青年部役員会&臨時総会&H29年度予定者会議
2	木	青色申告税務相談会
3	金	青色申告税務相談会
4	土	平成28年度長野県中野立志館高等学校全日制卒業証書授与式
6	月	日本政策金融公庫定例相談会 中野陣屋 光と音のシンフォニー実行委員会 第4区春季例会
7	火	フードデックスジャパン視察 第2回中小企業相談所長会議
8	水	広報委員会 女性会新旧役員会
9	木	商業委員会正副委員長会議 商業観光委員会合同会議 フードデックスジャパン視察 おごっそフェア役員会
13	月	土びな展オープニングセレモニー 工業委員会
15	水	日商3月委員会 cci&AXAトップマネジメントカンファレンス cci&AXAトップマネジメントカンファレンス長野県懇談会 第3回中野市バラまつり実行委員会
16	木	日商会員総会
17	金	正副会頭会議 総務委員会 常議員会
18	土	第19回中野陣屋ひな市特別展オープニングセレモニー
19	日	第11回土人形の里 信州なかの/土人形絵付けコンテスト表彰式 きのこシンポジウム
22	水	まちかど土びな展打合せ会議 中野市産業公社理事会 中野市産業公社評議員会
23	木	長野県活性化基金助成金完了検査
24	金	信州なかの観光協会役員会 広域連携会議 通常議員総会
26	日	アクサ視察研修 (~27日)
27	月	ぐるナビシェフツアー
29	水	中野市勤労者互助会役員会 支部長 会議
31	金	中野ひな市 (~4月1日) 高市神社祭 大灯籠びな出発式 大灯籠びな直会

**商 工 会 議 所 情 報 板**

**日本政策金融公庫の定例相談日**

来月は、**5月1日(月)** 午前10時～  
(原則・毎月第1月曜日)  
場所 当所 第2会議室

**豊田出張所の開設**

開設日 原則・毎週 月・水・金の3日間  
開設時間 午前10時から午後4時  
ご用の方は、お電話で在室をご確認ください。  
豊田出張所：中野市豊田支所 2階  
TEL/FAX 38-3044

**写真・イラストを募集**

当所広報委員会では、会議所ニュースの表紙を飾る中野市の花や季節の写真・イラストを募集します。  
作品は、アングルが縦型(表紙)で未発表のもの(プリント・デジタルデータどちらでも可)  
氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所(写真の場合)、作品タイトル等を記載の上、お送りください。  
なお、掲載に際しては、匿名希望、ペンネーム希望は「ペンネーム」を掲載の上、お伝えください。  
宛先 〒383-0022 中野市中央1-7-2  
信州中野商工会議所 ☎22-2191  
Eメール：info@nakanocci.or.jp

定 価：1部 50円(会員の購読料は会費に含まれています。)  
発行所：信州中野商工会議所 長野県中野市中央1丁目7-2  
TEL 0269-22-2191 FAX 0269-26-7007  
発行人：池田 喜芳 編集人：市川 真一